



校長室だより



祝

平成 29 年 3 月 17 日 No.46

すきです白峰

白山市立白峰小学校

卒業

スローガン

「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」



学力の安定・向上に向けて

全教員、全学年で工夫した取り組みを行っています。
いつでもご来校いただきご覧ください。



チャレンジタイム

25分 プラス の共通実践
毎週水曜日 午後1時20分～45分
プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)

白山開山1300年 名山にふさわしい子どもを育てる！ 平成28年度卒業証書授与式 式辞(概要) 3月17日

厳しい冬を忍び、訪れる春の兆し。この白峰の郷にもいよいよ優しく柔らかな日差しが感じられ、霊峰白山の峰々が青空に映えわたり、輝く季節となってきました。
(臨席お礼)

さて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。先ほど、卒業証書を受け取る姿は、希望に溢れキラキラと輝き、とても立派でした。
皆さんはこの一年、学校スローガン「すきです白峰 学び合い高め合い 世界に発信」のもとで、一年生から五年生全校のお手本として、あらゆる場面を導いてくれました。
春には、白山市内で唯一、本校でしか演奏できない金管楽器演奏で白山市音楽会での発表をリードしました。

秋の運動会では、「みんなの全力パワーでゴー」をスローガンに、白峰保育園運動会の同時開催へのおもてなしの心を大切に、全校一致団結した運動会を作り上げました。

また、蕪城小学校と二回のテレビ会議での交流は、これからの時代の先駆けになり、冬の「志賀町立富来小学校をスノーシュー体験でおもてなし」は、全校の模範となりました。

今年の取組の中心である「夢プロジェクト」では、特に火山研究に取組、全校の先頭に立つてまとめ、様々な機会でご発表し、ライオン賞は、三年連続して選考委員特別賞に輝きました。この一年、すべてに挑戦し、全校が輝く、素晴らしい結果を導いてくれた皆さんに、心より感謝します。

卒業にあたり君たち一人一人の決意を伺いました。「投げ出さない」、「手を抜かない」、「自分でよく考える」。そして、「社会の役に立つため、社会に通用する人になる。」、「相手の立場に立つて、心優しく人を大切に行ける人になる。」と。

決意のキーワードは「自分への挑戦」です。これからの中学校生活に向けた素晴らしい決意であり見事な成長です。どうか今の気持ちをいつまでも忘れずにいてほしいと思います。「自分への挑戦」に船出する十一人に一番贈りたい言葉があります。それはやはり二学期の終業式に紹介した「上杉鷹山」の言葉です。覚えていいますか。「なせばなる なさねばならぬ なごころも ならぬはひとのなさぬなりけり」どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成就するという言葉でしたね。ケネディ元アメリカ大統領やビル・クリントン元大統領に、「もつとも尊敬する日本人政治家」と言われた鷹山は、小さいころから勉強熱心でした。

十七歳で現在の山形県の米沢藩をつぎますが、莫大な借金を返すために、自分から模範を示して、財政再建、産業育成、精神復興を同時に行い、米沢藩を立て直しました。この上杉鷹山の生き方に、光るものが二つあります。

一つは、百年先を見通した取組を進めたということです。米沢藩には、名産や特産品がなく、将来の産業の育成のために他の藩から講師を招き、たくさんのお金を使いました。そして養蚕・織物・陶磁器・和紙などの産業の育成に大成功しました。また、将来のために常に優秀な人材の育成が必要であると考え、学問の場「興譲館」を創設し、謙遜の心をもって相手を尊重する道を修業させる学問を広げたのです。

二つ目はいつも現場に学んだ生き方です。現場で意見を聞き、自ら示したということです。当時はだれもが自由に意見を言うことができるような日本ではありませんでした。なんと藩士だけでなく、農民や町人も意見を自由に言うことができるようにしたのです。また、当時は、武士が農業をすることはありませんでした。しかし、身をもって農業の尊さ、大切さを示し、武士にも勧めたのです。

「なせばなる なさねばならぬなにごともしならぬはひとのなさぬなりけり」百年先を見通して、現場を大切に、意見を聞きながら、自ら模範を示していた人だからこそ、どんなことでも強い意志を持ってやれば必ず成し遂げられると考えたのだと思います。アメリカの二人の元大統領が尊敬したのはこのような生き方だと思えます。

この先、大きな夢や希望を追い求める中には、苦しいことや辛く厳しいことがあるでしょう。しかし、上杉鷹山の生き方のように、将来を見通した強い気持ちと周囲の意見を聞きながら、自らに挑戦し努力することが、乗り越える力、負けない力、生き抜く力となります。自分の大きな夢や希望に正面から向き合い、「昨日より今日」、「今日より明日」と決して諦めることなく、いつも前を向いて、歩んでください。

少し疲れた時や悲しくなった時、寂しい時には、全校合唱「ビリーブ」を思い出してください。「くじけそうになったときは かならずぼくがそばにいて ささえてあげるよ」と。君のすぐ横にいる友だちを信じて相談してください。そして、「アイビリーブ インフューチャー」君たち自身の未来を信じてください。また白峰小学校は、君たちの母校、ふるさとです。いつでも顔を見せて、安心して立ち止まってください。白峰小学校は、君たちを優しく迎え、励まします。

結びになりましたが、保護者、ご家族の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。これまで、本校の教育活動に長年にわたり多大なご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝し、改めて御礼申し上げます。変化の激しい昨今、子ども達には「なぜ学ぶのか」、「どのように学ぶのか」、「何ができるようになるのか」と、これからの時代を具体的に、確かに、そして、豊かに生き抜くことが求められています。

よき大人となるために、辛いことや苦しいこととの遭遇と乗り越える経験が避けられませんが、どうぞこれからも、お子様の力を信じて、一歩先をしっかりと見守り、努力を惜しまない子ども達を、ほめて認め、励まし、未来への大きな志を応援してください。さるよう重ねてお願い申し上げます。

また、地域の皆様、本校は、日本一幸せな学校です。恵まれた豊かな自然に囲まれ、名山 白山が今年、開山千三百年を迎えます。伝統ある文化・芸能が息づき、そして、何よりも温かい地域の皆様の中で、未来の大切な宝として子どもたちが育まれています。どうかこれからも、変わらぬご支援、ご厚情をよろしくお願いいたします。十一名の素晴らしい輝く未来に幸多かれと祈り、卒業生への「はなむけの言葉」といたします。

平成二十九年三月十七日

白山市立白峰小学校長 田村博久



大切な節目



ホームページではカラーでご覧になれます。
いつでも何なりとお問い合わせください。
〒920-2501 石川県白山市白峰ニ 110 番地
TEL(076)259-2009 FAX(076)259-2188
E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp